

この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

2年生の松浦さんが作ってくれたロゴ

## 閉校記念誌の購入予約受付を開始！



閉校記念誌表紙案

**8月1日より、妻中学校の閉校記念誌『三真』の購入予約受付を開始します。**

妻中学校閉校式実行委員会(実行委員長:壹岐秀洋PTA会長)では、このたびの閉校に際し、79年の歴史と思い出を綴った閉校記念誌『三真』を作成します(現在作成中)。

記念誌は歴代写真の他、思い出の作文や随想、対談、俳句などで構成、全68ページとなります(¥2,000)。

現・妻中の保護者の方々や職員などには無料で配付しますが、卒業生や一般の方々で購入を希望する方には、下のQRコードから購入予約ページにアクセスしていただき手続きをしていただく必要があります。

予約受付は8月1日～11月末(予定)としておりますのでよろしくお願いいたします。なお、**記念誌の発送は2月**になってから、発送後に料金引き落としとなります。

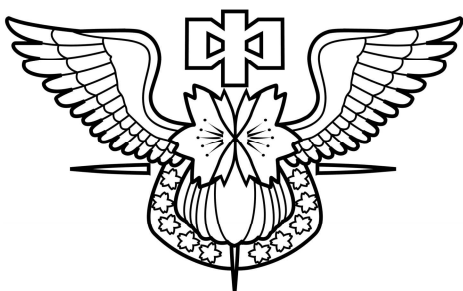


※不明な点は、妻中学校(担当:門松教頭)にお問い合わせください。(☎0983-43-3219)

### 三真の轍

妻中の歴史・校章

校章の翼をたたむ  
春を待つ



妻中の歴史・校章 妻中の校章を「存じ」でしようか。桜の花と鳥の翼がモチーフとなった秀逸なデザイン(左図)です。制定は、開校の年・昭和22年の2学期頃とされており、校長室の資料には次の記録があります▼**校章の由来** 桜の花は、西都原が桜の名所であるとともに、木花咲耶姫や桜川の伝説などから、妻地方を象徴している。また、両翼は中学生の未来と希望を意味しており、双桜となっているのは男女共学を意味している▼桜は、日本国を象徴する特別な花ですが、特に戦後の時期においては「再生」の象徴だったとも言われています。春になると必ず美しい花を咲かせる桜に、戦争という国難の後に訪れるべき復興や希望への期待が込められていたのです。一方で翼は「自由や飛躍、未来への挑戦」の象徴です。これからの日本を担っていく学生たちが、自由に羽ばたき自分たちの力で未来を切り拓いていく姿を重ねていたのかもしれない▼このデザインをもう少し詳しく見ると、中央に桜が、その左右に鳥の双翼が配置されています。桜を日本文化の象徴と解するならば「桜」は伝統の良さを大切にしながら、双翼は新しい未来へ自分の力で羽ばたいていく妻中学生の姿が投影されているような気がします▼いまじくも、今年の妻中学生には、西都中学校へこれまでの良き伝統を橋渡していくとともに、新しい学校づくりを担っていく役割が求められており、まさにこの「桜の翼」の体現が望まれます。生徒の皆さんには、この歴史ある校章に誇りをもち、残された日々を大切に過ごして欲しいと思います。(校長 伊東泰彦)



# 修学旅行・東京に行ってきました！

6月25、27日、2年生が東京方面への修学旅行に行ってきました。当初台風の接近で心配された旅程も、まったく雨が降ることなく無事に楽しむことが出来ました。初日は羽田空港隣接ホテルで朝食をとった後、バスで東京観光をしながら上野公園へ移動、上野周辺での班別自主研修に取り組みました。浅草や秋葉原、上野公園、アメ横などを散策し、東京の電車に乗って無事に戻ってくるのができました。生徒たちの日頃の

行いの良さを感じました。立派なホテルで夕食や友達との時間を過ごし、翌日はディズニーランドを満喫。アトラクションや買い物、パレードなどを楽しみました。最終日は東京グローバルゲートウェイで、日頃鍛えた英語力とコミュニケーション力を発揮できました。大過なく楽しく過ごせたのは、生徒の皆さんの社会性や人間力が高かった裏返しです。日頃の学校生活の大切さを感じました。



ディズニーランド



東京グローバルゲートウェイ



出発式



昼食



東京駅



羽田空港



アメ横



解散式



夕食

## 美術科のおもしろい取組

美術の授業中、生徒たちがユニークな手法で妻中の姿を描いてくれています。思

い思いに切り取った校内の写真をデジタル加工し、浮世絵風に表現しています。新たな妻中の姿を発見した気がします。

